

患者図書室“いきいきの森”だより

カビが原因の病気

いよいよ梅雨の到来です。この時期気になるといえば、やはりカビ。カビが引き起こす呼吸器疾患は、最悪の場合死に至るケースもあります。「夏型過敏性肺臓炎」は、トリコスポロンというカビにより肺の細胞が破壊され、息苦しさを感ずるようになる病気です。また「慢性肺アスペルギルス症」も、肺の細胞が破壊され、肺に空洞が作られます。破壊された部分が元に戻ることはありません。対策として、結露などの水分は早めに拭き取る、晴れた日の換気、温床となる埃を溜めないように予防掃除をする等に心掛け、梅雨明けまで気持ち良く過ごしましょう！

5月の貸出テーマランキング

1位 小児

『お母さんのためのやさしい小児喘息のおはなし』

『小児科に行こう！』他

2位 糖尿病

『糖尿病を自己管理する本』

『60歳からの糖尿病』他

3位 脳・神経系

『ゼロからわかる脳梗塞』他



図書の紹介

身体のこと、健康のこと、病気のこと…患者さんに知っていただきたい“いきいきの森”があります。その想いは小さなお子様に対しても同じです。楽しく触れて学んでいただくために、カラフルで愉快的な絵本を揃えています。是非、親子で読みに来て下さい。



『じょうぶなからだをつくるたべもの』吉田隆子/作 他

私たちが元気に生きていくために、食べることがいかに大切かをこの本は伝えます。ふだん食べているものがどのグループに入るのか、体にとってどんなふうに関わるのか、楽しく知ることができます。本シリーズより他に二冊揃えています。

『はらぺこさん』やぎゅうげんいちろう/さく

私たちの体は、動いたり、考えたり、寝ているときにだって燃料が必要です。体の燃料が足りなくなると、はらぺこさんになります。空腹と食欲の関係を楽しい絵で紹介しながら、規則正しく食事をする事の大切さを伝えてくれる絵本。

